

「2型糖尿病治療薬」観察研究のお知らせ

トホグリフロジンの安全性および有効性の検討

今回2型糖尿病の治療薬として、SGLT2阻害薬「トホグリフロジン」という新しい作用機序のお薬が開発されました。

この新しいお薬の安全性(副作用)と有効性(効き目)を調べることを目的とした研究を当院も実施することとなりました。

当院を受診されている「2型糖尿病」の患者さんに参加をお願いしております。

【観察研究】

病気の予防・診断・治療方法の改善、患者さんの生活の質の向上などを調べるため患者さんに協力頂き検査データの提供をお願いする研究の事です。

【お薬の特徴】

SGLT2阻害薬は、余分な糖분을尿中に排出することで血糖値をコントロールするという新しい作用機序の糖尿病治療薬です。

【研究の概要】

- ①全国1,000施設10,000例の2型糖尿病患者さんが参加予定です。
- ②研究期間は2014年6月～2019年5月迄です。
- ③ご協力頂ける期間は2年です。
- ④データセンターへのデータの影響は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

【参加にあたって】

- ①参加は自由です。
- ②何時でも参加を取りやめる事が出来ます。
- ③参加いただける方の個人情報には完全に守られます。
- ④参加を取りやめても不利益な対応を受ける事はございません。

本研究のご参加に同意されない方は下記担当医へお申し出ください。

担当医 長谷川 浩二(禁煙外来・循環器内科外来担当)

TEL:075-641-9161(京都医療センター代表)

この観察研究は日本糖尿病協会と当院共同で実施しています。



公益社団法人 日本糖尿病協会
Japan Association for Diabetes Education and Care (JADEC)